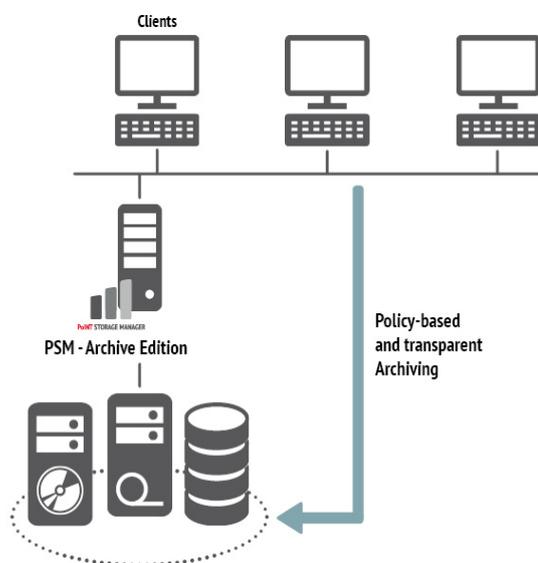


非構造化データの爆発的な増大への対応は、どの企業でも最重要課題となりつつあります。プライマリーストレージを拡張するだけでは、経済的にも技術的にも解決することは出来ません。殆どの非構造化データは、一定期間が経過するとアクセス頻度が極端に下がるCold Dataであることを前提としたソリューションが求められます。この問題に対しては、Cold Dataを長期間のデータ保存に対応し省エネルギー

なアーカイブシステムに移し、階層管理を行うことで解決出来ます。“PoINT Storage Manager - Archive Edition”は簡単にインストールし直感的に使用出来るソフトウェアで、ポリシー設定によりアクセス頻度が下がったファイルをプライマリーストレージからアーカイブストレージに移動する自動化された階層管理を提供します。

POIICY-BASED FILE ARCHIVING

PoINT Storage Manager - Archive Editionは、ポリシー設定によるファイルのアーカイブを提供します。自動化されたアーカイブには、異なったメディア(HD, LTO, Blu-ray)を必要に応じて使用出来ます。デバイスの設定後は操作の必要はありません。



USER-DEFINED ARCHIVING BY WEB

自動化されたアーカイブプロセスだけでなくPoINT Storage Manager - Archive Editionでは新機能のWebクライアントからユーザー定義のアーカイブも可能です。Webクライアントは、ユーザーが独自にアーカイブを実行することが必要な環境で使用出来ます。Webクライアントの使用は、ユーザー毎に設定出来ます。

WORM FILE SYSTEM WITH CIFS ACCESS

各種のアプリケーションは、直接ファイルをLTOやBlu-rayを使用したアーカイブデバイスに記録出来ず、CIFS等の標準のアクセス手段が必要です。PoINT VFS (仮想ファイルシステム)は、PoINT Storage Manager - Archive Editionの標準機能でCIFS経由でのファイルの読書きを可能にします。これによりアプリケーションを変更することなく、アーカイブストレージシステムを活用出来ます。

COMPLIANT ARCHIVING

法的な規則に従う必要があるエンタープライズは、長期間のアーカイブ用のストレージレイヤーを提供するPoINT Storage Managerをフルに活用出来ます。ファイルの入れ替えや削除は、ビジネス上や法的な規則で指定された期間中はリテンションポリシーが内容の変更を防止します。

利点

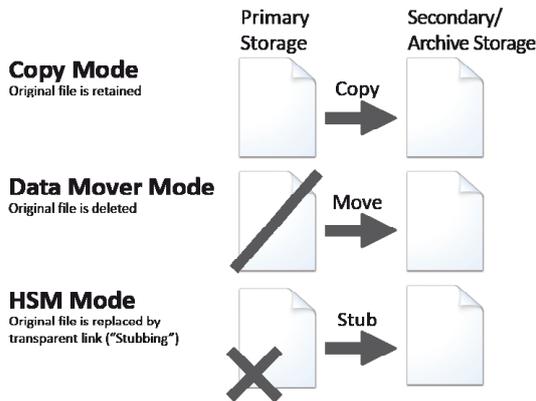
- プライマリーストレージの効率的な運用
- データ保管に関する法的な準拠
- ベンダーロックインからの開放
- 標準仕様
- 導入が容易
- 投資コストの削減
- バックアップウィンドウの短縮

特徴

- ファイルの階層管理 (HSM)
- 透過的なユーザーアクセス
- WORMファイルシステム
- リテンション期間の管理
- バックグラウンドでのデータ移行
- クラウドとオブジェクトストレージ
- 記録メディアのオフライン管理

ARCHIVING METHODS

PoINT Storage Manager – Archive Editionが提供するファイルの階層管理とアーカイブ方法は、ファイルのコピー(Copyモード)、ファイルの移動(Data Moverモード)、ファイルのスタブ化(HSMモード)です。



INDEPENDENT OF SPECIFIC ARCHIVE STORAGE HARDWARE VENDOR

PoINT Storage Manager - Archive Editionは各種のアーカイブデバイスをサポートしています。従って、独自のハードウェアを使用したシステムに対して長期間依存することで予想される予知せぬサポート費用を低減出来ます。ストレージデバイスの入れ替えは、PoINT Storage Managerのデータ移行を使用すればサーバーへのアクセスを変更するだけで稼働状態のまま可能です。

AUTOMATED REPLICATION

PoINT Storage Manager - Archive Editionは、アーカイブデバイスに保存されているデータを自動で他のデバイスにレプリケーションすることが可能です。対象としては、異なった種類のメディアにもレプリケーションが可能です。

USE OF STANDARD

PoINT Storage Manager – Archive Editionは、アーカイブメディアにデータを記録するために、標準のフォーマットを使用します。独自フォーマットは使用していません。そのため、全てのアーカイブされたデータには、OSが持つ機能でアクセスすることが出来ます。MTF (Microsoft Tape Format), LTF(Linear Tape File System)とUDF (Universal Disk Format) が、LTOとBlu-rayに対して標準フォーマットとして使用されています。

SOFTWARE DEVELOPMENT KIT

Software Development Kit (SDK) はPoINT Storage Manager – Archive Editionの機能をAPI経由でアプリケーションに組み入れることが出来ます。API経由で、ポリシーベースのジョブの管理やアーカイブされたファイルの検索が可能です。例えば、ファイルがアーカイブされているかどうか、アーカイブ先のメディア情報等を取得出来ます。APIはファイルがアーカイブされているハードウェアから独立しているため、LTOやBlu-rayライブラリーとの統合を容易に実現出来ます。

ADDITIONAL INFORMATION

さらに詳しい機能紹介と評価用のソフトウェアは、PoINT社のホームページ(www.point.de)にあります。

Technical Information

Supported Storage Systems

- NAS / Appliances (EMC, Dell, HP, NetApp, ...)
- Object-based Storage (Amazon, EMC, HDS, HGST, NetApp, Quantum, ...)
- Appliances (Crossroads, FAST, NetApp, ...)
- Tape (HP, IBM, Quantum, Qualstar, ...)
- Optical (DISC, Netzon, ...)

System Requirements

Windows Server 2012 (VMware supported), incl. Windows Failover Cluster